

たなかクラブだより 令和2年6月号

平和のありがたさ

コロナウイルスの影響で今年の秋までの日本中の全ての大会が中止となりました。今まで当たり前だった全てのことが当たり前ではない事も分かりました。平和の有り難さを知り、日々感謝の気持ちで過ごしたいですね。

小田原市・下郡中学生特別大会

小田原市・下郡中学生大会が8月20、21、22に行われます。この大会は県大会に通ずる大会ではなく、3年生が試合をしないで引退することを残念に思う先生方の思いやりで開かれる大会です。

新会員募集

たなかクラブ会員募集中です。小～中学1年 約10名皆さんの知り合いの方を紹介して下さい。皆で一緒に仲良く楽しみながら上達しましょう。



夏合宿のご案内

日時 8月14(金)～16(日)2泊3日
場所 山中湖村平野 580
民宿 リゾートハウス「リゾートイン愛」
電話 0555-65-8177
会費など詳細は別紙案内参照
対象 たなかクラブ全員
今回は卓球台が多いので全員対象です。



新入生セール7月24日まで延長

今年はコロナのために5月まで休校が続き、6月に入っても部活は停止で、6月後半から7月に入って卓球部に入学する生徒も多くいます。このため新入生セールを当初予定の7月10日から2週間延ばして24日まで延長します。



「いつも初心になって勇気を持って夢を追え」を読んで

感想文 鴨宮中3年 高橋奏

僕がこの本を読んだの第一印象は監督の人生についての本でした。ですが、どんどん読み進めるとタナカ卓球がどれだけすごいものなのか、監督やコーチが何気なくしている行動にはどんな意味があるのか、普段は知れないものが伝わってきました。

僕の中ですごく印象に残った内容がたくさんありました。

一つ目は田中監督は全国大会にも数多く出場してたくさん実績を残していますが子供の頃に恵まれない環境で卓球をしていたことにおどろきました。中学校の頃に先生に暴力を受けていたのにも驚きました。

二つ目は監督が全日本の表彰台に上ることにごだわっていた理由です。他にもあるかも知れませんが、亡くなった坪内さんにその目標を達成することを誓ったという事には胸を打たれました。

三つ目はアドバイスの時の「どうだった」と言う言葉です。自分が大会に出た時もアドバイスの時に監督やコーチに「どうだ」と聞かれます。ですがこの言葉に深い意味があったことにも驚きました。

たった一分の短いアドバイスですが、監督は勝利に導くためにその一分をそこまで考えていたとは知りませんでした。

本を読んでもその他にもたくさん心に残ったことがたくさんありました。

この本は普段当たり前のように通っていたタナカ卓球の過去、監督のこれまでの卓球に対する真剣な考え方や行動が本当に良く伝わって来る本でした。



今月は川口拓一からの寄稿文です

今年の主な成績は関東社会人3位、東京選手権シングルス代表です。今回は全関東社会人大会を中心に私が試合で心掛けていたことを紹介します。

関東社会人は、ベスト8以上に入ると東京選手権予選が免除になるため関東の強豪がごぞって参加します。去年のこの大会は8決定戦でセットオール12本で負けました。相手は守備範囲の広いカットマンで、両サイドに打つボールがごとく返ってきました。そのため決め球は両サイドではなくミドルに打つことでした。この作戦は途中まで効いていましたが勝負に熱くなってしまう最後は徹底できなかったことが敗因です。

今年は昨年のことを意識して試合に臨みました。ベスト8決定は今年埼玉県の前日本代表選手でしたがセットオール9-9の時にチャンスボールを冷静にミドルに打ってそのラリーを制し勝てたことが3位に繋がりました。

私のサーブは誰にでも効く自信があり、浮いてきたボールを確実に決めることを心がけています。また、大会は卓球仲間に出会う機会でもあります。自分の目標を忘れないで冷静に気持ちを保ち、仲間であってもあまり話さないようにして試合に集中することを心がけています。試合で勝つには卑怯なこと以外は何でもすると言う強い心構えや、精神的に良い環境を自分で整えることも重要です。

このように気をつけて試合に臨むのは、「負けたら悔しいから」ただその一点のみです。試合で負けると自分が惨めで情けないと心の底から思います。周りからの評価も一気に下がります。負けの悔しさを常に忘れないことが大事で、一度負けた相手には「自分が成長して次は絶対に勝つ」と言う考えも必要です。

私は人に試合を見てもらうのが好きです。一つ一つのプレーに意味があるし、堅実なプレーには勝ちへの執念が詰まっています。見て頂く時には技術面はもちろん精神面も参考に是非私の試合を見て下さい。



長男 究君のお宮参り